

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ）		
ナンバリングコード	E31203	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	3 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002618	クラス名	泉ゼミ
担当教員名	泉 丙完		
履修上の注意、 履修条件	教わるだけでなく、自ら調査し問題を発見、解決案を提案できること。 活発に討議や発表に参加すること		
教科書	参考資料配布		
参考文献及び指定図書	「経営システム工学」、松井正之、由良憲二（共立出版株式会社） 「VEとTRIZ」、澤口学著（同友社） 他		
関連科目	経営学入門、プロジェクトマネジメント論、eビジネスマーケティング論		

○基本情報		
授業の目的	本ゼミでは、メーカーやITビジネスにおける技術マネジメントについて幅広く学び、卒論にむけた課題の発見、解決案の提案と検証に取り組む。特に、メーカーやITビジネスに携わることを希望する人を対象とし、開発管理、生産管理や品質管理等の経営工学の基礎を学んだ上で、具体的な企業の事例研究を行い、卒業論文としてまとめる。ゼミⅢでは、経営システム工学に関する手法を学び、卒業研究において活用していくことを目的とする。	
授業の概要	技術マネジメントに関する基礎知識の講義を行う。本ゼミでは、製品開発、生産管理や品質管理等の基礎的な技術マネジメントについて学んだ後、各自が特定の企業における、具体的な製品開発、生産管理や品質管理に関する調査発表を行う。ゼミⅢでは、経営システム工学に関する手法を学ぶ。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリー II：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	泉丙完 本授業のITビジネスに関連し、三菱電機(株)でIT関連の技術開発に従事する。 また、製造業に関連し(株)泉精器製作所で開発製造に従事する。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	製造業やIT関連産業に興味があること。		20点	
【知識・理解】	将来、製造業やIT産業に従事するための基礎知識	20点		
【技能・表現・コミュニケーション】	製造業マネジメントのためのコミュニケーション能力を有する。			30点
【思考・判断・創造】	講義、演習を通して製造業における問題解決をイメージできる。			30点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
各自が決めた企業に関する調査報告。また、出席状況・受講態度も考慮する。ゼミにおける発表と討論への参加状況。プレゼンについては授業中において評価、講評等を行い、レポートについては評価の上、本人に後日フィードバックする。

○その他
本ゼミではITパスポート等の資格取得を奨励する。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 泉 丙完	授業コード	E002618
学修内容				
1. ゼミナールⅢ（第1回目） ゼミナールⅡA/Bで調査発表した、内容を踏まえ、本ゼミでの各自の研究目標を議論する。また、卒論に向けた活動の行動計画を策定する。				
予習	「経営システム工学」(pp.3～pp.8)調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.3～pp.8)に関する事例まとめ			約2時間
2. ゼミナールⅢ（第2回目） 各自、特定企業のシステムに関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.23～pp.37)調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.23～pp.37)に関する事例まとめ			約2時間
3. ゼミナールⅢ（第3回目） 各自、特定企業における生産システムに関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.38～pp.52)調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.38～pp.52)に関する事例まとめ			約2時間
4. ゼミナールⅢ（第4回目） 各自、特定企業における作業システムに関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.53～pp.70)調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.53～pp.70)に関する事例まとめ			約2時間
5. ゼミナールⅢ（第5回目） 各自、特定企業における製品開発に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.75～pp.82)調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.75～pp.82)に関する事例まとめ			約2時間
6. ゼミナールⅢ（第6回目） 各自、特定企業における消費者モデルに関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.83～pp.92)調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.83～pp.92)に関する事例まとめ			約2時間
7. ゼミナールⅢ（第7回目） 各自、特定企業における具体的な製品価値評価に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.93～pp.99)調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.93～pp.99)に関する事例まとめ			約2時間
8. ゼミナールⅢ（第8回目） 各自、特定企業における需要量予測に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.100～pp.112)調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.100～pp.112)に関する事例まとめ			約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 泉 丙完	授業コード	E002618
学修内容				
9. ゼミナールⅢ（第9回目） 各自、特定企業における具体的な製品価格に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習 「経営システム工学」(pp.113～pp.124) 調査			約2時間	
復習 「経営システム工学」(pp.113～pp.124)に関する事例まとめ			約2時間	
10. ゼミナールⅢ（第10回目） 各自、特定企業における経営計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習 「経営システム工学」(pp.125～pp.124) 調査			約2時間	
復習 「経営システム工学」(pp.125～pp.124)に関する事例まとめ			約2時間	
11. ゼミナールⅢ（第11回目） 各自、特定企業における利益計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習 「経営システム工学」(pp.129～pp.136) 調査			約2時間	
復習 「経営システム工学」(pp.129～pp.136)に関する事例まとめ			約2時間	
12. ゼミナールⅢ（第12回目） 各自、特定企業における投資計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習 「経営システム工学」(pp.137～pp.143) 調査			約2時間	
復習 「経営システム工学」(pp.137～pp.143)に関する事例まとめ			約2時間	
13. ゼミナールⅢ（第13回目） 各自、特定企業における物流計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習 「経営システム工学」(pp.159～pp.169) 調査			約2時間	
復習 「経営システム工学」(pp.159～pp.169)に関する事例まとめ			約2時間	
14. ゼミナールⅢ（第14回目） 各自、特定企業における環境計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習 「経営システム工学」(pp.170～pp.180) 調査			約2時間	
復習 「経営システム工学」(pp.170～pp.180)に関する事例まとめ			約2時間	
15. ゼミナールⅢ（第15回目） ゼミナールⅢの中間のまとめとして、ゼミ内でのミニ発表会を行い研究成果の中間発表を行う。また、今後のゼミナールⅢにおいて研究を続けるための課題を確認する。				
予習 「経営システム工学」(pp.192～pp.210) 調査			約2時間	
復習 「経営システム工学」(pp.192～pp.210)に関する事例まとめ			約2時間	
16. 予備				
予習				
復習				

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 泉 丙完	授業コード	E002618
学修内容					
17. ゼミナールⅢ（第17回目） ゼミナールⅢ前期で調査発表した、内容を踏まえ、本ゼミでの各自の研究目標を議論する。また、卒論に向けた活動の行動計画を策定する。					
予習		「経営システム工学」(pp.3～pp.8)調査			約2時間
復習		「経営システム工学」(pp.3～pp.8)に関する事例まとめ			約2時間
18. ゼミナールⅢ（第18回目） 各自、特定企業のシステムに関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。					
予習		「経営システム工学」(pp.23～pp.37)調査			約2時間
復習		「経営システム工学」(pp.23～pp.37)に関する事例まとめ			約2時間
19. ゼミナールⅢ（第19回目） 各自、特定企業における生産システムに関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。					
予習		「経営システム工学」(pp.38～pp.52)調査			約2時間
復習		「経営システム工学」(pp.38～pp.52)に関する事例まとめ			約2時間
20. ゼミナールⅢ（第20回目） 各自、特定企業における作業システムに関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。					
予習		「経営システム工学」(pp.53～pp.70)調査			約2時間
復習		「経営システム工学」(pp.53～pp.70)に関する事例まとめ			約2時間
21. ゼミナールⅢ（第21回目） 各自、特定企業における製品開発に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。					
予習		「経営システム工学」(pp.75～pp.82)調査			約2時間
復習		「経営システム工学」(pp.75～pp.82)に関する事例まとめ			約2時間
22. ゼミナールⅢ（第22回目） 各自、特定企業における消費者モデルに関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。					
予習		「経営システム工学」(pp.83～pp.92)調査			約2時間
復習		「経営システム工学」(pp.83～pp.92)に関する事例まとめ			約2時間
23. ゼミナールⅢ（第23回目） 各自、特定企業における具体的な製品価値評価に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。					
予習		「経営システム工学」(pp.93～pp.99)調査			約2時間
復習		「経営システム工学」(pp.93～pp.99)に関する事例まとめ			約2時間
24. ゼミナールⅢ（第24回目） 各自、特定企業における需要量予測に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。					
予習		「経営システム工学」(pp.100～pp.112)調査			約2時間
復習		「経営システム工学」(pp.100～pp.112)に関する事例まとめ			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅢ（Seminar Ⅲ） 泉 丙完	授業コード	E002618
学修内容				
25. ゼミナールⅢ（第25回目） 各自、特定企業における具体的な製品価格に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.113～pp.124) 調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.113～pp.124)に関する事例まとめ			約2時間
26. ゼミナールⅢ（第26回目） 各自、特定企業における経営計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.125～pp.124) 調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.125～pp.124)に関する事例まとめ			約2時間
27. ゼミナールⅢ（第27回目） 各自、特定企業における利益計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.129～pp.136) 調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.129～pp.136)に関する事例まとめ			約2時間
28. ゼミナールⅢ（第28回目） 各自、特定企業における投資計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.137～pp.143) 調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.137～pp.143)に関する事例まとめ			約2時間
29. ゼミナールⅢ（第29回目） 各自、特定企業における物流計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.159～pp.169) 調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.159～pp.169)に関する事例まとめ			約2時間
30. ゼミナールⅢ（第30回目） 各自、特定企業における環境計画に関する調査発表を行い、ディスカッションを行う。				
予習	「経営システム工学」(pp.170～pp.180) 調査			約2時間
復習	「経営システム工学」(pp.170～pp.180)に関する事例まとめ			約2時間
31. ゼミナールⅢ（第31回目） ゼミナールⅢのまとめとして、ゼミ内でのミニ発表会を行い研究成果の中間発表を行う。また、今後のゼミナールⅢにおいて研究を続けるための課題を確認する。				
予習	研究成果の中間発表の資料準備			約2時間
復習	研究中間発表資料のレビューと訂正			約2時間
32. 予備				
予習				
復習				